

地域担当協働推進員制度 見直し後の運用状況について

地域担当協働推進員って？

協働？



地域と行政のパイプ役です！

地域

一緒に考え
ましょう！

〇〇のことで、何か改
善策はないでしょう
か？



推進員

担当課

推進員

〇〇のことで、
△地域が改善
策がないか相
談がありまし
たので対応を
お願いします。



【協働とは】…市民と市が、または市民相互が、互いを理解し、対等な立場で、それぞれの責任と社会的役割を踏まえ、共通の目的達成のために共に取り組むことをいう。
(高松市自治基本条例第2条(6))



一つの主体で解決(対応)できる課題⇒「共同」
地域だけで 又は 行政だけで解決(対応)できない課題⇒「協働」

地域担当協働推進員の課題等

■ 地域担当協働推進員の役割

～ R5.5	役割
● 市内全44地域の各地域に1人配置 ● 当該地域居住の局次長級又は課長級職員	● 地域のサポート(パイプ役、相談役等) ● コーディネート能力の向上と地域の重要性への理解を深めることが不可欠

■ 地域担当協働推進員制度の課題

課題1	地域担当協働推進員からは、各地域 1 人体制から 複数 人体制への見直しの意見・要望が多い
課題2	「出張所長」職の 廃止 に伴い、これまで出張所長が行っていた地域との協働の役割を担えなくなる
課題3	コミ協への アンケート調査 (R4年7月実施)において、複数人(2～3人)体制(管理職、係長級)に加え、地域と行政とのパイプ役のほか、会議や事業への参加の役割を求める要望が多い
課題4	総合センターを地域の活動 拠点 として、地域との更なる 協働 を 推進 する必要がある
課題5	当該地域居住の局次長級又は課長級職員が いない 地域がある (地域外 19 地域【R4年度】)



地域行政組織再編(**激変緩和措置の解消**)に合わせ
R5年度から**地域担当協働推進員制度の見直し**を実施

地域担当協働推進員制度の拡充

■地域担当協働推進員制度の拡充

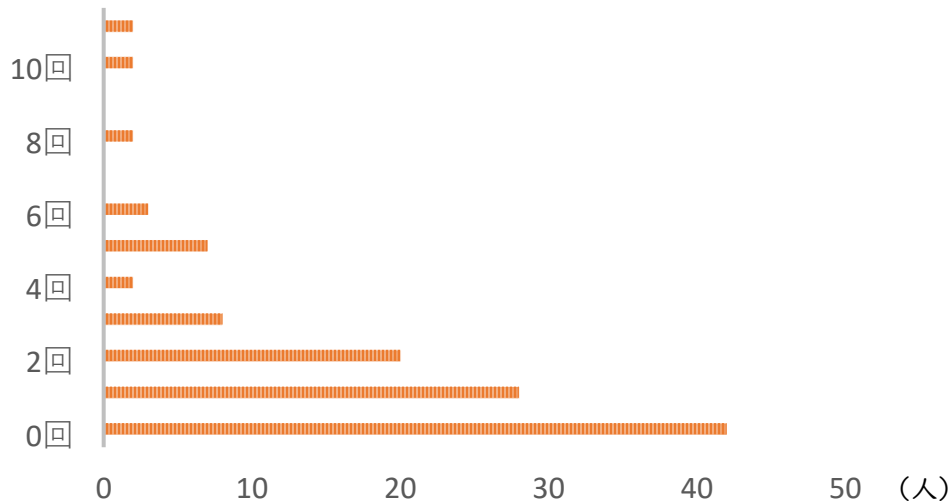
～ R5. 5		R5. 6 ～	
人員体制 対象職員・人数	1人体制 当該地域居住の 局次長級又は課長級	3人体制 当該地域居住の局次長級 又は課長級又は補佐級 当該地域居住の 係長級又は一般職 総合センター職員 (正規又は再任用) ※本庁地区については、 地域政策部職員	
具体的な業務内容	(1)コミ協会長から依頼のあった協働推進員業務に該当する会議に出席する (年6回程度) (2)コミ協会長からの地域課題等に関する相談に対応する (3)コミ協会長から、他の課に係る内容の相談があった場合、「協働ほっとレポート」を作成し、コミュニティ推進課及び担当課に連絡する (4)コミュニティ推進課が実施する、協働やコミュニティ施策に関する研修会に参加し、協働に対する理解と知識の向上に努めるとともに、市民及び職員への啓発を行う (5)担当地域の職員に地域活動への参加の呼びかけを行う	(1)コミ協会長から依頼のあった協働推進員業務に該当する会議(総会、役員会、企画委員会等)に出席する (年12回程度) (2)コミ協会長からの地域課題等に関する相談(出張所長が担っていた相談を含む)に対応する (3)～(5) 現行どおり	
業務としての位置付け及び手当等	(1)市内出張旅費を支給 (2)管理職員特別勤務手当は支給対象外	(1)市内出張旅費を支給 (2) 時間外勤務手当を支給 (3)管理職員特別勤務手当は支給対象外	

令和5年度地域担当協働推進員の 活動アンケート調査結果

Q1.地域から会議への出席依頼はありましたか？

1,どれくらい出席依頼がありましたか？

(依頼回数)



2,どのような会議への出席依頼でしたか？

総会
役員会
各種実行委員会
企画委員会
部会
地域福祉ネットワーク会議
プロジェクトチーム
広報誌の作成
交通キャンペーン
夏祭り・文化祭・運動会・防災訓練等の手伝い

} 会議？

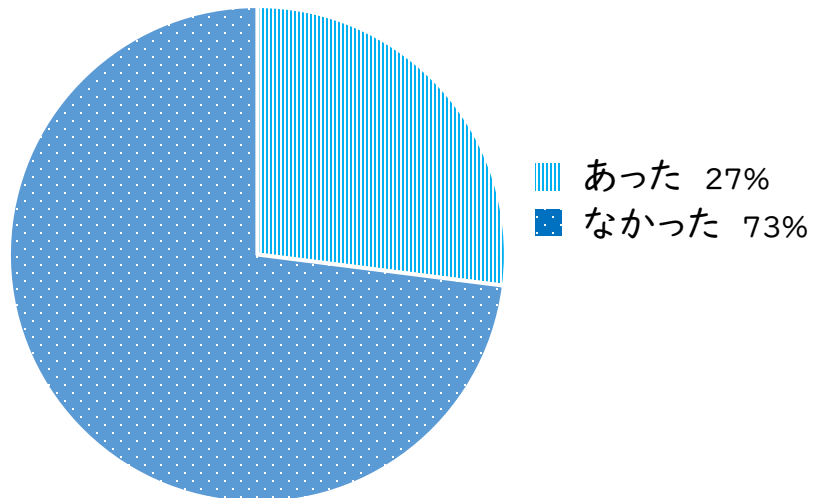
【参考】コミュニティ推進課へ出席依頼提出分
25地域 (1/19時点での受付分)



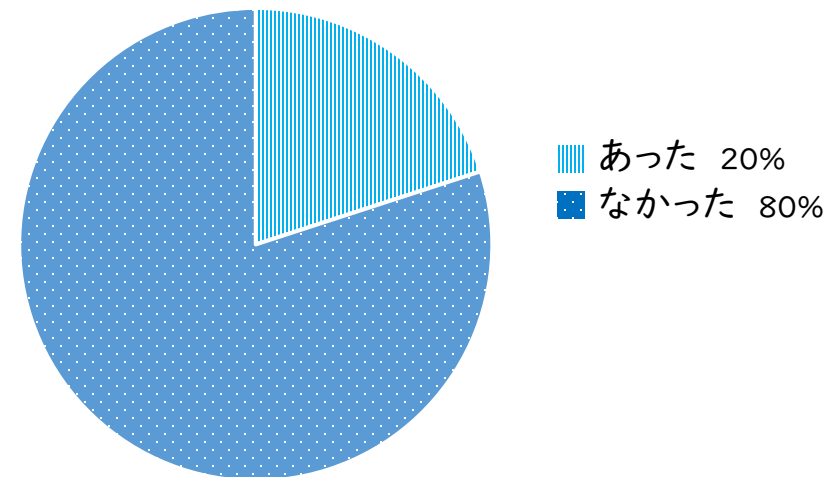
協働推進員が参加した会議 (ボランティアを除く)
34地域 (アンケート結果)

Q2.地域行事への参加依頼はありましたか？

1, ボランティアとして行事への
参加依頼はありましたか？



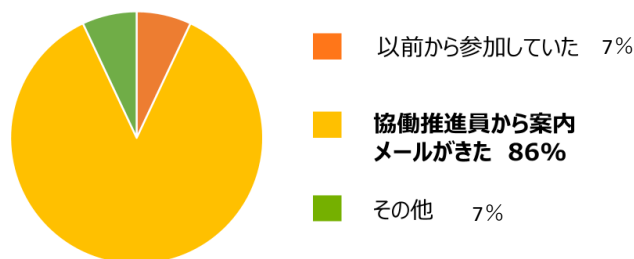
2, ボランティアとして地域行事への
参加の呼びかけ依頼はありましたか？



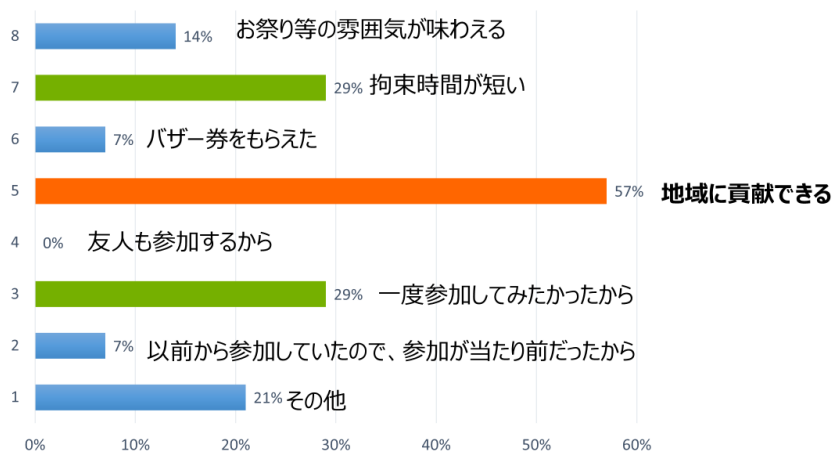
協働推進員を除く

地域の行事にボランティアとして出席した職員の方にアンケートを実施しました！

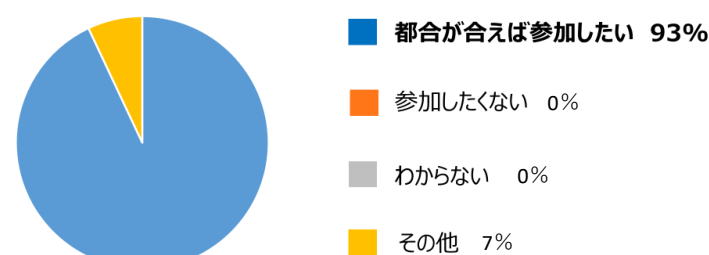
Q1.行事に参加しようと思ったきっかけは？



Q2.参加の後押しとなった項目は？



Q3.今後も参加したいですか？



参加者の感想

- ❖地域の行事に微力ながら貢献できたことへの達成感が得られた💡
- ❖楽しかった💡
- ❖地域の皆様がお祭りを大切にしている気持ちが伝わってきた💡
- ❖地域住民が地域コミュニティに関心を持つきっかけに十分なり得ると思った💡
- ❖夏でとても暑く、想像以上に大変だった💧
- ❖ここ数年参加している人が毎回同じなので、事業の継続が心配になった💧

Q3.協働推進員として活動してみての感想

出席依頼や活動がなかったが、機会があれば参加したい

うまく活用していただければ地域組織の強化に資する変化がうまれるのではないかと
思う

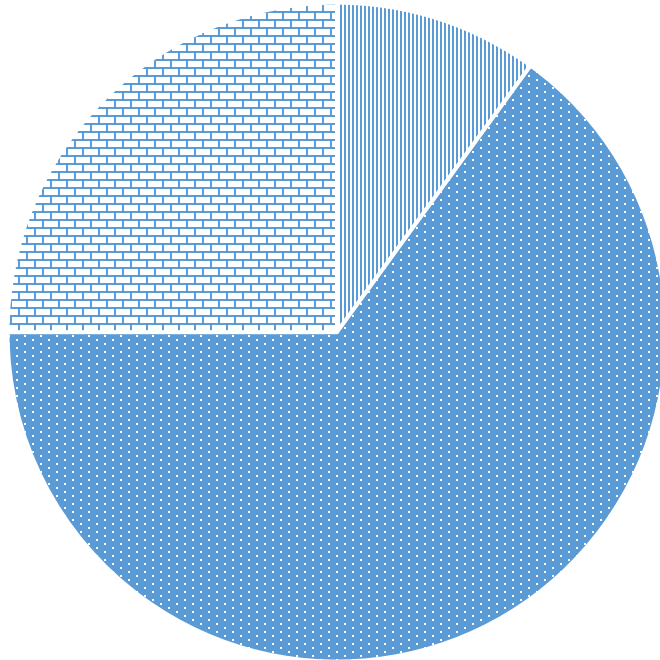
イベントの大変さや地域の皆さんの雰囲気がわかって、感心した。
今後もサポートできたらいいなと思う

地域からの参加者の中には、市全般、コミュニティ活動全てを熟知していると勘違いされる場合もあり、さび分けが難しい

時間外の活動が多く、時間調整がしにくいと感じた

推進員として特筆して何かお役に立てたわけではなかったですが、地域の方が快く受け入れてくださったことが嬉しかった

Q4.次年度の希望調査結果



活動したい 10%

誰も候補者がいなければ引き受けても良い 65%

辞退したい 25%



協働推進員の声

子育て世代の職員から夜間・休日の参加について負担が大きいという意見が多くありました。

地域行事（祭りや防災訓練等）の運営側になると、子どもの保護者として参加できなくなる

子供がまだ小さく、休日は家族で過ごす時間を優先したい

子供が小さく、家庭に負担をかけてしまっている（夜間に頻回の出席依頼は辛かった）

協働推進員になっていれば、地域目もあるため、地域行事に無理して参加せざるを得ないので、もっと気軽に参加できれば

地域担当協働推進員制度の今後の課題

■ 地域担当協働推進員制度の今後の課題

課題1

コミ協からは、イベント当日に**職務としてでも参加してもらいたい**という意見がある。地域担当協働推進員は、イベント当日のスタッフの場合、職務としては、従事できない。推進員が住民として自主的に参加するよう、啓発していく必要があるが**強制はできない**。

課題2

その地域に居住している地域担当協働推進員以外の職員に対しても、積極的にイベント参加等を啓発していく必要がある。
居住地区ごとの職員リストがあり、活用次第では、通常業務においても、職員同士のネットワークを活用・構築できる。

課題3

当該地域居住の局次長級、課長級又は課長補佐級職員だけでなく、そもそも職員の数が**少ない**地域がある。
推進員の世代交代ができないこと、また、推進員が**固定化**してしまう。

